

小美玉市タウンミーティングの記録（小川会場）

【実施概要】

- ・日 時 10月4日(火)午後7時00分～午後8時35分
- ・場 所 小川文化センターアピオス 小ホール
- ・参加者 65名
- ・テ ー マ 小美玉新時代に向けて
(5つの重点施策・行財政改革・4つの中長期ビジョン)

【次第】

- 1 開会の言葉（長島 区長会副会長）
- 2 開会のあいさつ（藤田 区長会会長）
- 3 テーマについて島田市長より説明
(資料2「市長の説明内容」のとおり)
- 4 意見交換
(主な内容は下記のとおり)
- 5 閉会の言葉（長島 区長会副会長）

（意見交換の内容）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せ、お住いの行政区のみとさせていただきます。

◆旧小川小学校周辺道路の整備について（本田町区）

素鷲神社を見学したいという旅行団体が増えており、それに伴い、本田町公民館の駐車場の利用者も増えております。旧小川小学校周辺の開発の道筋がついても、道路事情や駐車場の状況が、非常に悪いという現実問題があります。旧小学校跡地が綺麗に再整備されることを考えれば、周辺道路の整備もお願いしたいと思っており、ご提案申し上げました。

（市長）

素鷲神社はある種の聖地みたいになっており、遠方からも多くの方がお越しになっている話を伺っております。お話にございましたが、旧小川小周辺には駐車場が少なく、道路事情が悪いということで、旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画では、旧小川幼稚園等を解体し、そこを駐車場にするとしております。これから整備される公園の利用者はもちろんのこと、素鷲神社に行かれる方も利用できる駐車場を確保してまいります。

また、アクセスの向上を図るため道路の整備も考えております。旧小川小学校の下の消防機庫からの道が途中で止まっておりますので、本田町公民館から上がってくる道を繋いで、下からも回れるような道路を作っていきたいと考えております。

◆具体的な取組みについて（下田（一）区）

市としての方向、あるいは目標とするものについては、理解が深まったと、いうふうに感じております。ただ、感想といたしましては、30年前の誰か言っていた話と概ね変わらないような感じがします。もっと具体的に、いつ・何が・どこでどうなって、こうなる予定だと。何か1例を挙げてご説明願えればありがたいと思います。

（市長）

今回、重点施策である5つの施策を示しましたが、中途の施策の進行状況を検証しまして、施策の推進により今後どうなっていくのか、来年以降はさらにどうなるのか、きちんと市民の皆様にはわかるように見える化したいと考えております。また、各施策等を進めるにあたり、市民の皆様のご意見等を踏まえることが大変重要で、例えば旧小川小学校跡地の計画でも、地元の皆さんからご意見を頂きながら進めていく必要がございます。先ほど駐車場の整備などのご提案をいただきましたが、しっかりと皆様のご意見を踏まえた形で皆さんにお示しするとともに、予算にも反映してまいります。

しっかりと検証し、きちんと皆様にご報告してまいります。

◆市独自の不妊治療制度について（佐才地区）

市全体で少子高齢化が進む中、不妊治療が保険適用になり県では補助事業を廃止し、子どもを望む若い夫婦の個人負担金が増え、生活が苦しくなっているという話を聞きます。市では、子どもに恵まれない夫婦に対して、不妊治療に対する助成制度があるのか。あれば詳しくご説明をお聞かせください。なければ少子化に対する市のこれからの考え方をお聞かせください。

（市長）

市といたしましては、少子化対策の一環としまして、子どもを持ちたいと願う方の経済負担の軽減を目的に、市の独自事業として、一般不妊治療（人工授精等）については、妻の年齢が35歳未満であることを条件に、5万円を上限に助成をしております。

また、生殖補助医療（体外受精や顕微授精）については、1回当たり10万円を上限とし、治療の過程で実施した男性の不妊治療についても、1回5万円を上限に助成しております。対象者は、申請する日の1年以上前から、引き続き住民登録をしている方で、治療開始日における妻の年齢が43歳未満であることが条件となっております。

◆人口減少対策について

(倉数川向地区)

・将来、非常に人口減少のカーブが非常に大きくなっており、将来を見据えた設計をするのが大事なというふうに思いました。

◆ICT教育・地域学校協働活動の実施時期について

・ある統計によると、ICT教育によって読解力と数学の能力が低くなるという結果があります。ICT教育の推進にあたっては、対策もあわせて考慮される必要があると思います。

・協働による学校づくりでは、地域学校協働活動推進員を指定するとあるが、いつごろから実行する計画でしょうか。

◆消防団員の担い手不足について

・消防団のなり手不足対策として、消防団OBを補助員や支援員として活用できるように、あらかじめ現役当時から人事管理上でプランを作っていてはどうかというふうに思います。自衛隊も今そういう方向で検討を進めています。

(市長)

人口減少対策では、このまま何もしなければ、子どもたちは2040年には半分以下になり、全体の人口も4万人を切る見込みとなります。これから5つの重点施策、行財政改革、中長期ビジョンの取組みを進めていくことで、それが人口減少対策につながると考えております。

読解力等の向上策としては、市図書館と学校との連携を強化し、学校に学校司書をきちんと配置し、学校図書の実質を図りたいと考えております。

消防団員の不足では、消防団の方々とお話した中で、1度辞めた人の支援協力は、なかなか難しいという話がありました。通常は出動しなくても大きな災害があったときに、出動できる後方支援体制について消防団と話し合いをしています。消防団はある程度の役職につくと、定年はないですが時期が来たら辞められてしまいます。それを辞めずに役職だけが終わっても、引き続き在籍できる制度にすれば、継続した支援を得られるのではないかと考えています。まず現状の団員を確保するため、役職が終わった方も引き続き団員として若い人の指導や、後方支援ができるよう調整をしています。

(教育長)

ICT教育の推進により読解力が下がる統計結果があるということですが、実際、授業の中では、タブレットを使った授業は、割合的にそんなに多くはなく、調べ学習や共同制作などでデジタルを活用しています。従来通りの対面での授業では、教科書やいろんな資料書をじっくりと読み込み、読み取ることを重視する活動もありますので、読解力や学力が下がらないように、それぞれの良さを生かしながら、ハイブリッドでやっていきたいと考えています。

地域学校協働活動では、社会教育主事を配置して、来年度から行っていきたいと考

えています。各学校、学校運営協議会と地域学校協働活動が一体化となり、地域とともにある学校、学校とともにある地域、そういったものを作り上げていきたいと考えています。

◆道徳教育の具体的取組みについて（下吉影荒地地区）

道徳教育を推進するという説明いただきましたが、どういうことをやられるのかよくわからなかったことと、少子高齢化の1つの要因として、我が町を好きになれない子どもたちが、大人になったときにこの町に残るんだというような、道徳心のある情操教育を目指していただければなと思いますので提案させていただきます。

（市長）

道徳教育、昨今なかなか子どもたちの心の病とか、いじめ等々、全国的にいろいろと報道がされています。基本的な道徳教育として、人の痛みや、そういうことを感じ取れること、また先ほどお伝えしました郷土愛を育むことで、自分たちの地域をやはり、いつまでも親しみを持っていただき、さらには小美玉市の良さを再発見してもらえ活動充実させ、雰囲気づくりもしていきたいと思っております。

◆空き家・空き地対策について（上吉影地区）

人口減少並びに空き家問題で空き家が手入れされていけば結構ですが、草も刈らずに10年、20年と放置されている。子どもたちの道徳や将来のビジョンも大事ですが、どの地区にもそのような足元の問題があると思います。足元の問題解決なくして将来はないと思います。いかがでしょうか。

（市長）

空き家対策では、本市では有識者や不動産鑑定士などで構成する空家等対策協議会を立ち上げ、市内の空き家を調査するなど、今後どうすべきかを検討しております。老朽化が進むと借り手がつかなくなるため、なるべく空き家になった早い時点で情報を得まして、移住対策につなげたいと考えております。比較的新しい空き家は利活用し、市外からの移住者が住めるよう対応していきたいと考えております。

また、子どもたちの通学路で空き家が老朽化して危険を及ぼすと判断した場合には、法的措置も視野に入れ、空き家対策を進める必要があると考えております。子たちの安心安全の確保に努めてまいります。

空き地対策でも、自分の土地の管理を強く促し、管理できなければ委託し管理するよう強く求めて参ります。

◆そららの拡張について（外之内区）

空のえき「そ・ら・ら」の拡張について、新聞に掲載されたまちづくり構想基本計画を見ると、駐車場が大きくなるなどの構想があるようですが、地元向けの説明会をお願いしたいと考えております。

（市長）

先ほどご説明した中で、もちろんそららの拡張計画はありますが、これから小美玉市全体として、小川地区では茨城空港やそらら、小美玉温泉、玉里地区では大井戸平山公園、美野里地区では羽鳥駅周辺整備など、新規要素を加えた市全体の構想を考えていまして、これから各地区の意見を聞きながら進めていきたいと思っています。そららの拡張計画では当然、駐車場も狭いですし、これから新しいお祭りを実施いたしますので、農地を持っている方のご協力をいただき、そららの整備を進めていきたいと考えております。全体的な構想は、これから計画に入りますので、その時点時点で手法など、皆さんに発表していきたいと思っています。

◆市財産の有効活用について（二本松地区）

小美玉市の野球場や公園施設などの財産の管理や借地の見直しについて、さきほど学校跡地が有効活用される案が出ていましたが、いま市は財源を確保していくことが必要とされていると思います。市で管理する財産を有効に使ってもらいたいと思います。

（市長）

借地は解消したいと思っています。借地の場合はずっと払い続けなければならないことから、見直しをし、借地解消を進めております。市の負担にならないように、きちんと整理し、ずっと後世に残す財産の部分と、借地の部分のバランスを取ることを念頭に、取り組んでまいります。

小美玉市タウンミーティングの記録（玉里会場）

【実施概要】

- ・日 時 10月5日(水)午後7時00分～午後8時40分
- ・場 所 玉里保健福祉センター 集団検診室
- ・参加者 54名
- ・テーマ 小美玉新時代に向けて
(5つの重点施策・行財政改革・4つの中長期ビジョン)

【次第】

- 1 開会の言葉（吉倉 区長会副会長）
- 2 開会のあいさつ（藤田 区長会会長）
- 3 テーマについて島田市長より説明
(資料2「市長の説明内容」のとおり)
- 4 意見交換
(主な内容は下記のとおり)
- 5 閉会の言葉（亀井 区長会監事）

（意見交換の内容）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せ、お住いの行政区のみとさせていただきます。

◆つくばエクスプレス延伸について（川中子地区）

つくばエクスプレスの延伸では、市長が当選後すぐにTX戦略室を作っていたいてくれたおかげで、あっという間に2万2,000人ほどの署名が集まりました。いかに小美玉市民がこれを望んでいるのかということがわかりました。この数字を受けて今後どのように大井川知事などと進めていくのかお話ししていただければと思います。

（市長）

本当に皆さんのおかげで、人口数から見ると約半分近く署名が集まりました。土浦市などは人口が13万人の中で3万くらいの署名数ですから、小美玉市民の延伸に対する強い思いを改めて感じました。

先だって、大井川知事に会う機会がありまして、知事に市の人口の半分から署名を頂きましたよ、とお話をしました。知事も土浦市をはじめ、色々な関係者から要望されている中で、これから県では関係自治体に対してヒアリングを実施する予定で、TXを延伸したときに、どのような効果があるのかなど、県にプレゼンテーションをしていきます。それを踏まえて、県では4つのルートを一つに絞るということです。今後、県の第三者委員会で議論し、最終的には知事の判断となります。今後も機会がある度に、県や国へ強く要望してまいります。

◆排水路の汚泥撤去及び電気料高騰対策について（川中子地区）

大井戸湖岸公園付近の堤脚水路に泥が大量に詰まっており、今までは国が管理して掃除をしていましたが、市に管理をやってもらわないと困ると言われました。高崎地区・玉川地区は農業を中心とした地区ですから、水稻、レンコンの耕作事業を行うためにはこの泥の除去をおこなっていただきたい。

また、昨今電気料の高騰が続いていることから、創設された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」をできるだけ多く交付していただけるようお願いしたいと思います。

（市長）

ここでの即答は難しいので、あとで調整をさせて頂ければと思います。

◆通学路の整備及び教育環境の充実について（田木谷地区）

通学路の歩道に草が生えていて危険な場所がある。またスクールゾーンの色度規制や歩道整備などを行っていただき、通学路の安全対策をお願いしたい。スクールゾーンではできれば30km規制にしていだきたい。また学校では、学習サポーターが足りていないので、学習サポーターの充実や、不登校児童生徒が増えているので特別支援教育にできるだけ力を入れていくことが、これからの小美玉市にとって良いのかなと思います。それから学童保育では教育委員会も一緒になってやっていくことが大事だと思います。

（市長）

通学路沿いに草が伸びて通りづらいということで、私も要望を受けて対応いたしました。県道であれば県の土木事務所をお願いをして刈ってもらいました。子どもたちの安全管理上重要なことですのでしっかり対応してまいりたいと思います。

それから30km規制の件ですが、石岡警察署と連携を取りながら、検討してまいります。

歩道についても、担当者へ指示をして行きたいと思います。それから、教育の件ですが、タブレットを活用したデジタル教育にも力を入れてまいります。

（教育長）

子どもたち1人ひとりにタブレット端末を配布し、電子黒板、通信施設のWi-Fiなどの通信環境を整えながらデジタル教育を進めています。実際にこれらを使って指導するわけですが、先生方の年齢層、スキルの違いもありますので、ICT支援員の力を借りて、先生方の操作技術を向上するサポート、それから実際に授業に入って支援していただくなど、色々なことをやりながらデジタル教育を進めている現状があります。研究をしながら進めていきたいと思っております。

不登校の問題ですが、不登校の児童生徒の原因、背景は本当に様々で、色々なこと

が絡み合っていますので、一つ一つ子どもと向き合い、どのような方法が効果があるのか、最終的には学校に登校してほしいという気概を持って教員も取り組んでいます。学童についても、実際に学童で指導する先生方のご苦勞は聞いておりますので、よく話し合いながら対応を進めていきたいと思ひます。

◆農業施設更新・補修に対する補助について（下玉里地区）

資材や肥料、重油の高騰対策はもちろんです、ハウスの老朽化に伴いまして、建て替えるにしても値段がとても高い。補助はあるがキュウリの経営者の人数が少ないもので、条件をクリアすることができない。その条件を下げて頂きたいということもあるが、施設の補修にも結構な金額がかかってしまうので、ハウスの補修にも補助を付けて頂けたらありがたいと思ひます。

（市長）

調べさせていただき、どのような制度があるのか報告します。何か良い制度がないか担当所管と調整をして連絡します。

◆園部川のハザードマップの策定について（栗又四ヶ地区）

私は園部川の近くに住んでいます。その中で今、地震、台風、集中豪雨があつて、小美玉市にもハザードマップがあると思うが、心配しているのは集中豪雨です。集中豪雨がどこで起きるか分からない状況で、園部川がどのくらいの雨量で越水するのか分かれば教えて頂きたい。今現在、私のところはハザードマップで赤くは染まっていない。その辺をお聞きしたいです。

（市長）

水防法という法律で、園部川はその対象に指定されていないことからハザードマップが策定されていないのが現状です。対象の川に指定するのは県ですが、おっしゃるとおり、想定外の大雨もありますので、園部川の過去の被害などもよく調べて、県に指定いただけるように強く要望したいと思ひます。基準はありますが想定外がありますので、その辺を県にしっかりと説明して要望してまいります。

また、今年ハザードマップを更新し、園部川の過去の洪水範囲を掲載する予定です。茨城県で浸水区域に指定された場合は、市のハザードマップも更新し、市民の皆さんに周知してまいります。

◆災害用備蓄品について（田木谷地区）

避難場所に水とか最低限のものが用意されるのか、そういう所にも力を入れないといけないのかなと思ってお伺いします。

（市長）

当然避難所に指定をされたところには水などを確保します。

◆旧玉里東小学校の跡地利用について（大井戸平山地区）

今回の行政区の意見・提案ということで要望を出して回答をもらっていますが、東小学校の跡地の問題です。私たちは東小学校跡と言っているんですが、東小学校跡の再利用について、何度もこの件については質問・意見していて、地元も1月に説明会を受けていますが、行政側は財政面で説明が終わっているんです。老朽化の問題はあると思いますが、ほかに使う方法があるのではないかと提案もされています。具体的には資料館や調理室など色々な意見が出ているんです。もう一度地元の皆さんと、整備した後ではなく、解体する前に住民と話し合いをしてもらって、お互いが納得できるような形で進めてもらいたいと要望しておきます。

（市長）

要望は確認して精査してまいります。現在進めている旧小川小学校跡地、旧橘小学校跡地がありますが、国の指針により本市では公共施設建築物系個別施設計画を策定し、40年間で公共施設を30%減らしていくこととしております。統廃合した後の学校は市町村が自由に判断してよく、例えば隣の銚田市は、一般公募をし売却を進めています。旧小川小学校跡地は公園化しようということで進んでいます。私も就任したばかりなので、今回の要望は精査しますが、期待を持たせるような回答はできません。基本姿勢は受け継ぎますが、売却は考えておりません。しっかり地元と、大井戸湖岸公園も近くにありますので、その辺とリンクさせる形で市民の憩いの場という形もありますし、これからしっかり検討していきます。

小美玉市タウンミーティングの記録（美野里会場）

【実施概要】

- ・日 時 10月7日(金)午後7時00分～午後8時35分
- ・場 所 四季文化館みの～れ 風のホール
- ・参加者 78名
- ・テーマ 小美玉新時代に向けて
(5つの重点施策・行財政改革・4つの中長期ビジョン)

【次第】

- 1 開会の言葉（山内 区長会副会長）
- 2 開会のあいさつ（藤田 区長会会長）
- 3 テーマについて島田市長より説明
(資料2「市長の説明内容」のとおり)
- 4 意見交換
(主な内容は下記のとおり)
- 5 閉会の言葉（山内 区長会副会長）

（意見交換の内容）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せ、お住いの行政区のみとさせていただきます。

◆若い世帯の移住・定住について（羽刈地区）

我が区は、約90戸で小学生の数が、1学年から6学年トータルで10名となっております。いつまで自治会が持つのかなど心配しているところですが、重点施策では子どもを産みやすいとか育てやすい施策がとられております。

少子化の歯止めには、これから産んで育てていただくだけではなくて、もっと若い夫婦に移住してきていただきたいと考えている。人口維持に向けた市全体の移住・定住施策について具体的に教えていただければと思います。

（市長）

移住・定住に向けた取り組みとして、市内移住者への住宅取得費等の補助事業を実施しております。

今年度から事業を拡大しまして、45歳未満の移住者には10万円を加算し、16歳未満の子がいる子育て世帯の場合には、さらに10万円を加算して、本市への移住を後押しする形で、現在行っております。

また、安心して出産・子育てができる環境をきちんと整えていくことが非常に大事で、先ほど申し上げました通り、近くに産婦人科がないと不便だということで、石岡地域内での産婦人科の開設に向けて、小美玉市と石岡市とかすみがうら市で、連携し

た取組みを進めることや、妊娠・出産・子育てについて、様々な悩みを抱えている方が多くいることから、若い方が気軽に子育て等を相談できる窓口を設置するなど、若い世代が安心して、子育てができる環境づくりも取り組んでいきたいと考えています。

また自治会では、自治会活動における若い人が少なく、担い手不足という課題を聞いております。行政への若い人達の加入をはじめ、まちづくり活動に関わる組織や人材の育成にも取り組んで、持続可能な地域コミュニティの支援もしていきたいと考えております。

◆確定申告について（脇山区）

確定申告についてお願いをしたいことがございます。

現在、ほとんどの若い人がコンピューターを使いこなすことができるのですが、年寄りなどはなかなか使えない方が多いです。

羽鳥公民館やふれあいセンターで、確定申告をできるようになりませんか。

ご検討をお願いいたします。

（市長）

確定申告の受付の仕方・申告場所などを含め、待たせすぎないように担当課と調整し、どのようにすればスムーズに手続きがいくのか検討していきたいと思っております。確定申告は後半が大変混み合いますので、なるべく前半に来ていただきますと、比較的スムーズに手続きができます。

◆新しいまつりの開催とマイナンバーカード普及について （駅前区長）

笠間市の栗まつりでは、栗に絞って人が集まっており、お祭りの方向としてよいと考えました。例えばレンコンであれば、レンコン一本に絞って関係するお祭りをやるなど、そういう方向を考えてもいいのかなと感じております。

マイナンバーカードの普及では、市役所窓口等で身分証明書を提示する際に、運転免許証を提示してくださいと言われるが、まずは先にマイナンバーカードの提示を促すことをすれば、マイナンバーカードの普及につながると思います。区長会を通して、普及に尽力すればいいのではないかなと思います。

また県と市が一体となって重点施策等を進めてもらえれば、よろしいのではないかと思います。

（市長）

お祭りでは、先ほど説明したとおり、例えば産業祭では、テントで地域の特産品を販売したり、また、ふるさとふれあいまつりのいいところを取り入れて、幼稚園など子どもたちの発表会や歌手を呼ぶなど、市民が来て楽しめるイベントにしたいなど考

えています。二つに分かれていたものを一つにし、楽しめるものができればと考えています。もちろんその中で、特化するコーナー的なものも考えていきたいと思っています。

マイナンバーカードの普及では、マイナンバーカードを提示することを促した方がいいのではないかとということで、勉強になりました。早速取り入れます。

また、国・県とのいろんな連携を、ということで、国・県との連携を密にして、様々な事業を進めていきたいと考えています。市民の皆さんの声も聞き入れながら、取り組んでまいります。

◆TXの茨城空港への延伸に向けた活動及び地域活性化の取組 みについて（竹原下郷区）

区民の間でよく話が出るのが、つくばエクスプレスの延伸の問題になります。署名活動を行った後、どうなっているのか、その辺の話をお聞きしたい。先ほど企業誘致の取組みではいろいろ提案がありましたが、そのほかにも商業施設や、自然を生かすアウトドア的なサイクリングなど、いろいろあろうかと思っていますので、その辺のご説明をしていただきたいと思っています。

（市長）

つくばエクスプレスの茨城空港への延伸に向けた署名活動では、皆さんにお世話になりまして、8月1日現在で署名数は約2万2000筆、今現在ではもっと増えております。先月、県の方に要望書を持っていきました。来年の3月までに、1ルートに県が決めるということなので、皆様の熱意をきちっと伝えてきました。

また今後、TX延伸に向けて県へのプレゼンテーションがありますので、皆さんの意見を入れながら、茨城空港への延伸は、県全体の発展に繋がること、災害時に人や物の輸送が可能であることなど、そういった利点を県に提唱していこうと思っています。空港方面の延伸の優位性を強くアピールしながら、併せて茨城空港のアクセス道路の沿線の利活用なども、しっかりと検討して進めていきたいと考えています。

◆救急救命士の増員について（脇山区）

今、コロナ禍で市職員の方々はかなり苦勞されていると思います。

また3.11（東日本大震災）では市職員の方々は、自分のことを忘れて、市民のために尽くしてくれました。先ほど市長の方から、救急救命士を増員する話がありました。1名でも多くの枠を設けていただいて、さらに市民サービスの向上につなげていただきたいと思っています。要望ということでお願いしたいと思っています。

（市長）

おっしゃるとおり、特に消防はいわゆるマンパワーです。市民の生命・財産を守るわけですから、1人でも多くいた方がいいわけです。先ほど説明したように、救急救命士を持っている方の優先枠を作りまして、救急救命士は国家資格ですから、資格取得

は大変難しく、費用も200万から300万くらいかかると言われています。そういう意味で、即戦力にもなりますので、資格を持つ人の優先枠を設けて採用し、市民の安全・安心を守りたいと考えています。

◆空港を核とした地域活性化について（川中子地区）

小美玉市茨城空港利用促進協議会では、茨城空港ゆめ未来芸術展を開催しており、昨年度の子どもたちから提出があった作品は、本当に素晴らしく、今まで最多の作品数が集まりました。茨城空港の利用促進を図っていこうということで、茨城空港はすばらしいポテンシャルを持っていると思いますので、その辺のことについて市長のご意見を賜りたいと思います。

（市長）

茨城空港利用促進協議会の方には本当に、茨城空港の利用促進に向けた様々な活動等を行っていただきしており、改めて感謝申し上げます。

茨城空港ゆめ未来芸術展では、茨城空港や旅客機の絵のほかに、それからTX関係の絵も出てきているということで、実行委員会の方々のご尽力に改めて感謝します。空港を核としたにぎわいづくりということで、TXの延伸はもちろんのこと、小美玉市全体のまちづくりの総合的な取組を進めるため、例えば空港やそららだけじゃなく、玉里地区には、大井戸湖岸公園という立派な公園がありますので、サイクリングを活用したにぎわいづくり、アウトドア的な整備をしていきたいと思っています。小川地区では泊まれるところがないので、泊まれる施設も作りたいと考えています。美野里地区では、駅前東口の市有地の複合施設整備について考えていきます。